

桑高の松と宮地雄吉校長と高橋俊人先生 桑高同窓会長 西羽 晃

桑高運動場の西の道路沿いに松並木がありました。松喰い虫の被害などで次第に減っていましたが、最近に1本切り取られて、残るは2本となりました。

この松を植えたのは、桑名中学校の2代目校長である宮地雄吉です。彼は1931(昭和6年)に赴任し、33年に転任しました。赴任してから校風の確立に努め、中庭に防火用水を兼ねた円形の池を作り、校門からの道はヒマラヤ杉並木とし、校庭を取り巻く土手に松を植えて、環境の整備を図りました。文武両道にも力を入れて、水泳は一般の全日本競泳大会で入賞する選手も現れ、上級学校への合格者も増えました。彼は歌人でもあり、「尾野山の岡の上高く、聳え立つ我等が母校」で始まる桑名中学校の校歌も作詞しています。

33年に県視学官となり、36年に富田中学校(現四日市高校)校長、38年に宇治山田中学校(現宇治山田高校)校長。39年に新設の神戸市立神戸中学校(現葺合高校)校長となりました。戦後は神戸で若草幼稚園を経営し、神戸市の教育委員も務めました。富田中学校や市立神戸中学校の校歌も作詞しています。

彼が桑名中学校在任中の32年に高橋俊人先生を招聘しました。高橋も歌人であり、桑名中学校在任中に『寒食(かんじき)』という歌集を出版しています。その中で桑名中学校付近の状況を詠んだ歌もあります。

揖斐川をたどりて海へゆきし眼に知多の岬に日に光(て)れる見ゆ

見のかぎり桑畑つづくすがしきや朝ばれの風よくとほるなり

菜の花にいまだのこれる夕光(かげ)や傾斜(なぞへ)畑をおりてきにけり

桑名中学校の付近は一面の桑畑であり、春には菜の花が咲き乱れていました。



(1) 1958年 (全景と鷺野校長)



(2) 1965年 (道路の西は未開発地も)



(3) 2007年 (道路の西は住宅地)



2013年 (右手の建物は運動部室棟)

- (1) は伊勢湾台風 (1959年] 以前の写真です。まだ木造校舎ですが、プールが出来たあたりの松が切られました。西方住宅開発が始まっていました。運動場の東には松と桜がありました。
- (2) は校舎が徐々に整備されてきた段階です。道路の西は畑が残り、その後にスーパー・ナカニシが出来ました。
- (3) は道路の西に住宅が立ち並んできました。スーパー・ナカニシは無くなり跡地が駐車場となっています。この写真の直後に運動部室棟が改築されることになり、松が多く切り払われました。
- (4) は現在の姿です。手前 (南) と前方 (北) の2本のみが残っています。